

V S O P

飯豊町立飯豊中学校
第2学年通信
No.26
令和2年9月4日

飯豊革命！！

先生方は働き方改革・皆さんは〇〇改革？

酷暑の中、運動会が無事に終了しました。運動会の取り組みを通して、2年生の意識や行動、周りの人との関わり方が変わってきたと、担任の先生方が嬉しそうに話していました。いつもと違う運動会は大変でしたが、「運動会やってよかったな」と感じました。2年生の皆さんの成長によって、3年生の掲げた飯豊革命の後押しができたと思います。

ところで、今年度の飯豊中学校では、毎週水曜日を部活動中止とし、授業も減らして早い下校を実施しています。これも飯豊革命のひとつです。理由は様々ありますが、一番は「皆さんの気力・体力の回復を図る」ことです。4～5月、コロナの休校が明けたときに、週末に疲れ切った皆さんの表情を見た校長先生が、この対策を決断してくださいました。最近の皆さんの水曜日の表情を見ると、この「早い下校」は、間違いなく皆さんの心身のオアシスになっていると感じます。

ですが、この早い下校で生まれた余裕が、うまく活用されていない気がします。

木曜日放課後には「諸活動優先の日」が設定されています。もともとは、授業時間内に確保できない「学年や学級の仕事を、部活動に優先して行う」ことが目的の時間です。「宿題忘れの人がみんなに追いつくための居残りの時間」ではないのです。水曜日作っていただいた余裕は、諸活動優先の放課後の時間より、ずっと余裕があるはずです。その時間を、「居残りしないための学習時間」として活用することはできないのでしょうか。

今月は新入大会のある9月です。運動部で大会にエントリーされる人は「飯豊中の代表」です。代表である以上、代表にふさわしい振る舞いと努力が必要だと思います。人数の多い学校では「必死に努力しても、エントリーされない」人もたくさんいるのです。部員数が少ないからと言って「宿題をしないから居残りをして部活動ができない」人は、代表にふさわしい努力と振る舞いの人でしょうか。



来週からは木曜日の優先時間が無くなり、「部活動に集中する期間＝部活動強調期間」になります。大会明けに山のような課題を残さないためにも、飯豊革命から生まれた余裕を有効活用してください。

(今週は裏面もあります。お家の方はぜひ読んでください)

